

8. 歯

(1) 歯の本数

問28 現在、あなたの歯は何本ありますか。親知らず・さし歯も含め、全て数えます。

※永久歯の本数は28本です。(親知らずが4本ある場合は32本となります)

※さし歯とは、残っている歯根の上に人工的に歯を作っているものをいいます。また、インプラントは数に含めません。

全体では、「28本以上」が44.4%と最も高く、次いで「20本～27本」が32.2%、「10本～19本」が8.5%となっている。「28本以上」と「20本～27本」を合わせた『20本以上』は76.6%となっている。

(図8-1-1)

性別にみると、「20本以上」は女性(77.6%)が男性(75.3%)より2.3ポイント高くなっている。

(図8-1-1)

性・年齢別にみると、男女ともに15～59歳では「28本以上」が最も高く、60歳以上では「20本～27本」が最も高くなっている。男女ともに70歳以上では『20本以上』が5割となっている。80歳以上で《20本以上》は男性33.0%、女性35.2%で男女合わせて34.2%となっている。また、40～49歳で「28本以上」は男性67.4%、女性71.5%で男女合わせて69.7%となっている。(図8-1-2)

図8-1-1 歯の本数(全体/性別)

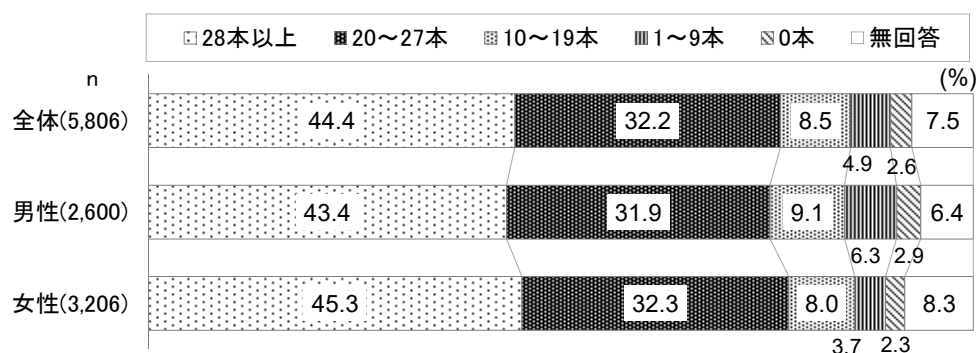
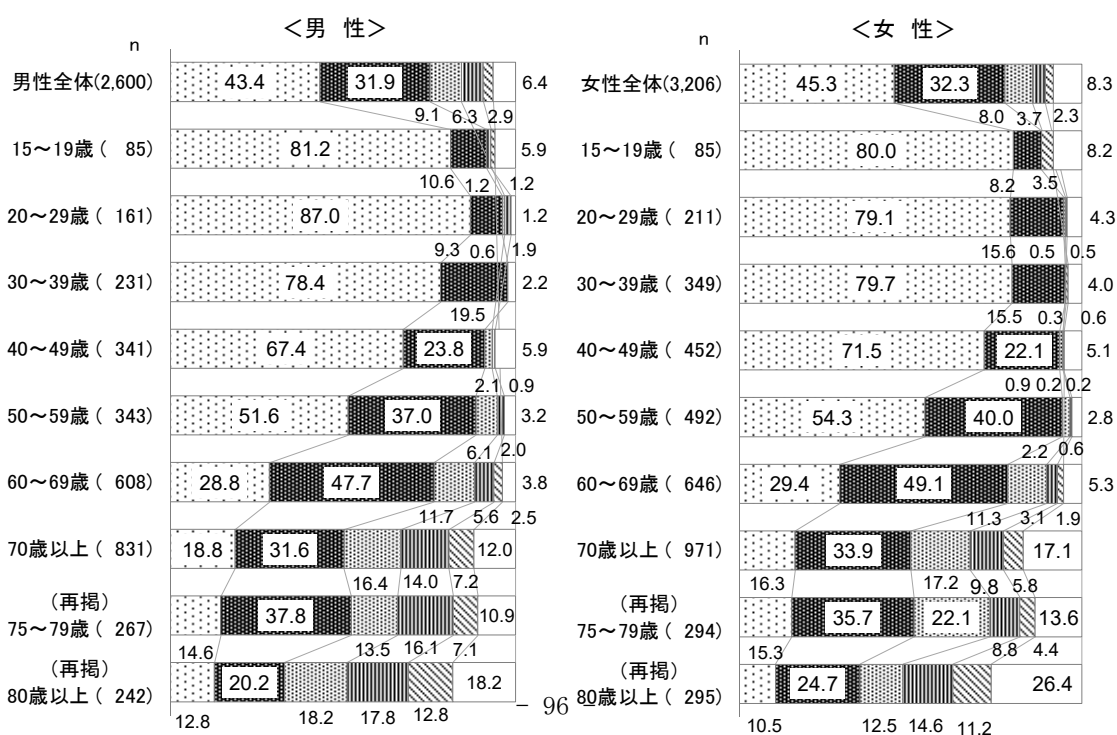


図8-1-2 歯の本数(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「28本以上」は平成23年度以降増加していたが、令和元年度（44.4%）はわずかに減少に転じている。（図8-1-3）

性別で過去の調査と比較すると、「28本以上」は女性が平成29年度より減少している。

（図8-1-4）

図8-1-3 歯の本数（過去の調査との比較）

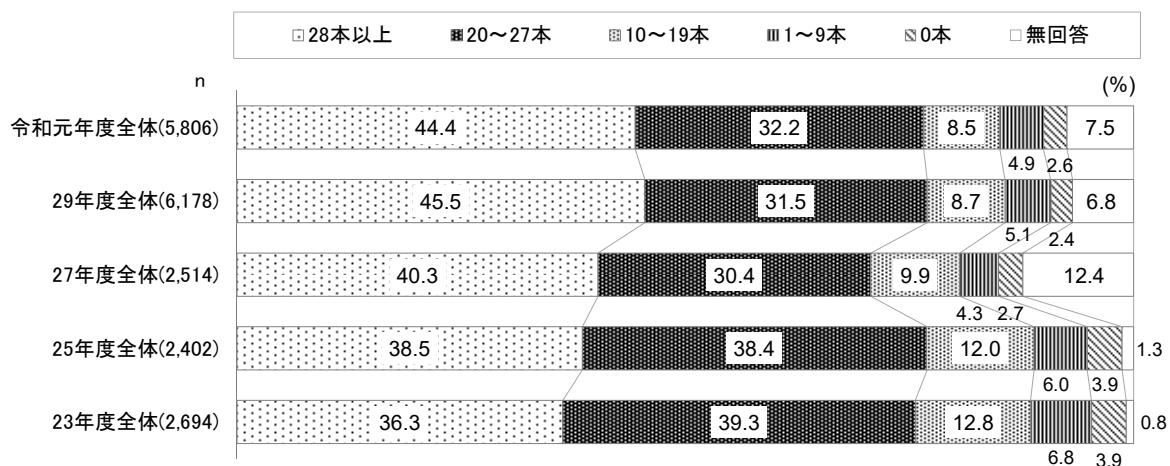
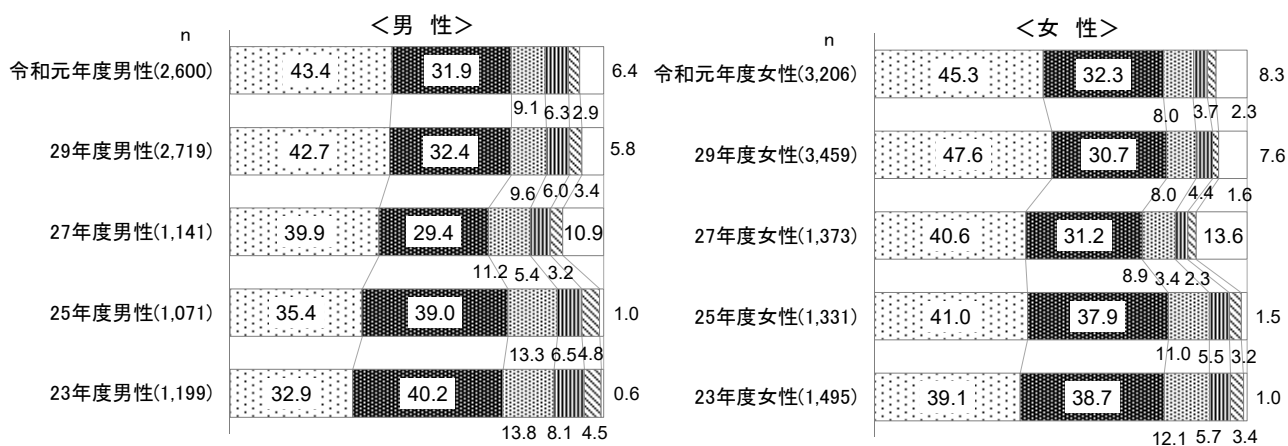


図8-1-4 歯の本数（過去の調査との比較・性別）



※平成29年度より、「※永久歯の本数は28本です。（親知らずが4本ある場合は32本となります）」の説明を追加。

(2) 最近1年間の歯の健康診査の受診状況

問29 あなたは、この1年間に歯の健康診査を受けていますか。(〇はひとつ)

全体では、「はい」が60.4%、「いいえ」が37.5%となっている。(図8-2-1)

性別にみると、「はい」は女性(63.7%)が男性(56.4%)より7.3ポイント高くなっている。

(図8-2-1)

性・年齢別にみると、「はい」は男女ともに15~19歳で最も高く、20~29歳では最も低くなっている。また、20歳以上で「はい」は男性54.0%、女性61.6%で男女合わせて58.2%となっている。

(図8-2-2)

図8-2-1 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(全体/性別)

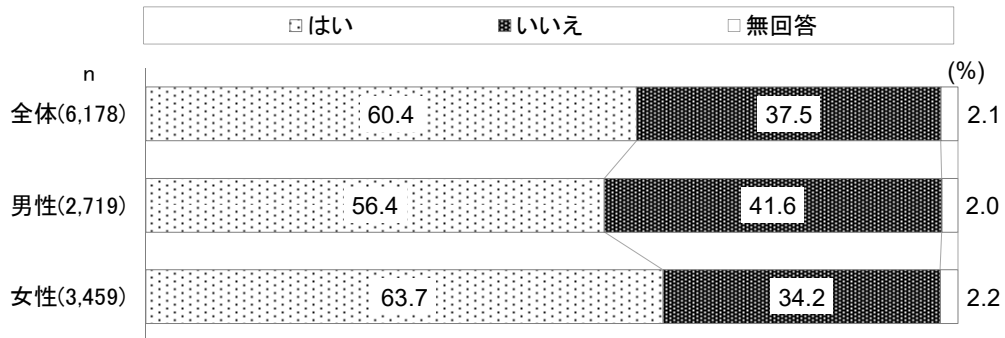
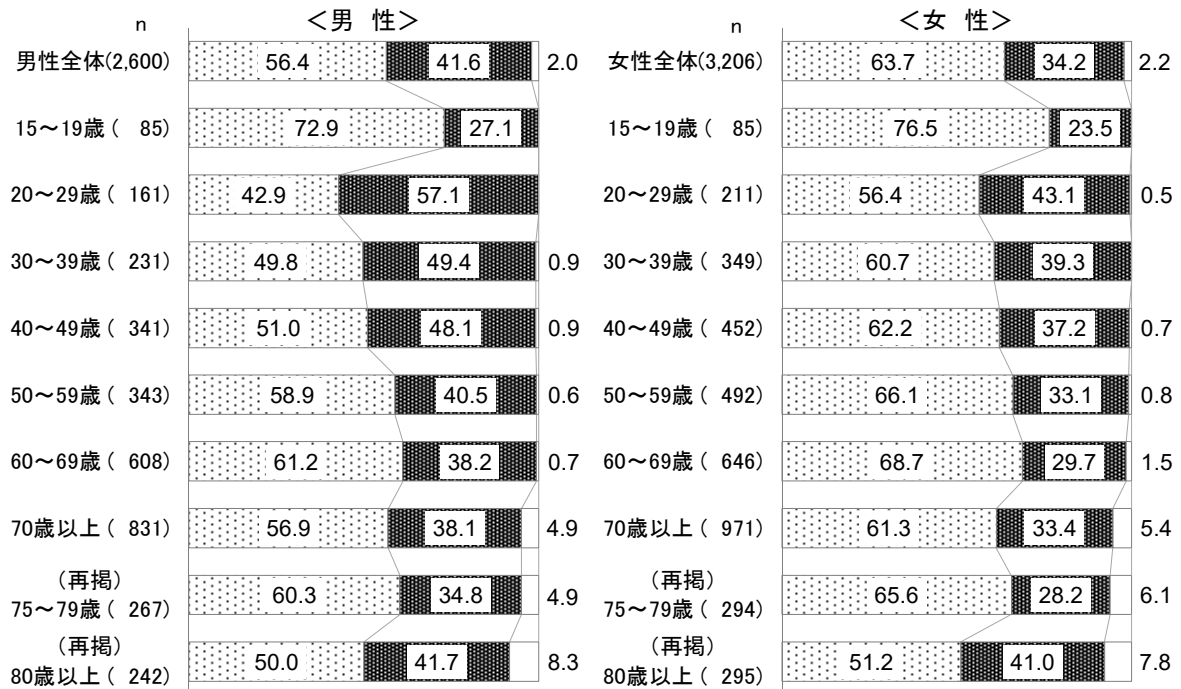


図8-2-2 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(60.4%)は、平成29年度(56.8%)より3.6ポイント増加している。(図8-2-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は女性では平成23年度以降増加している。

(図8-2-4)

図8-2-3 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較)

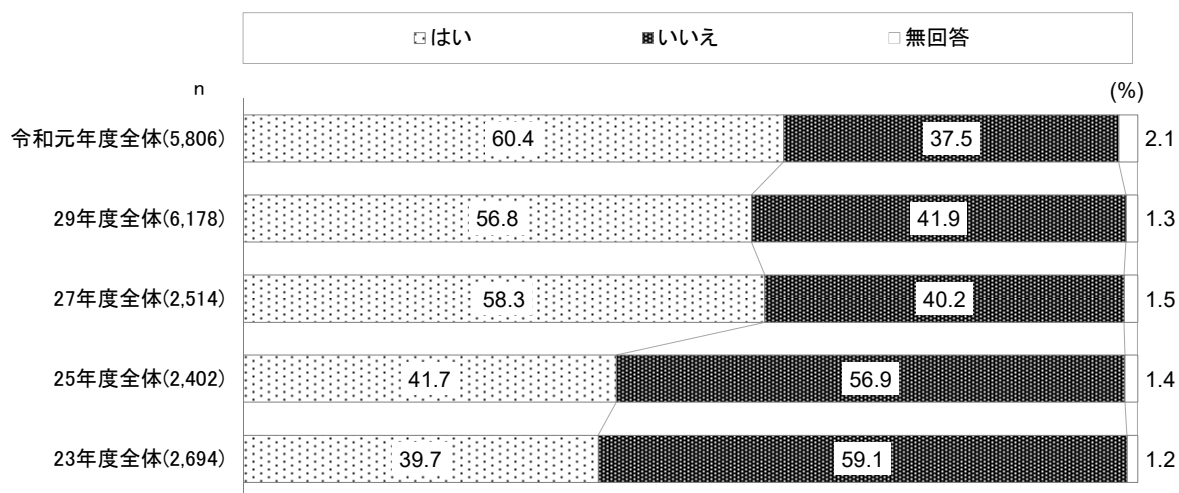
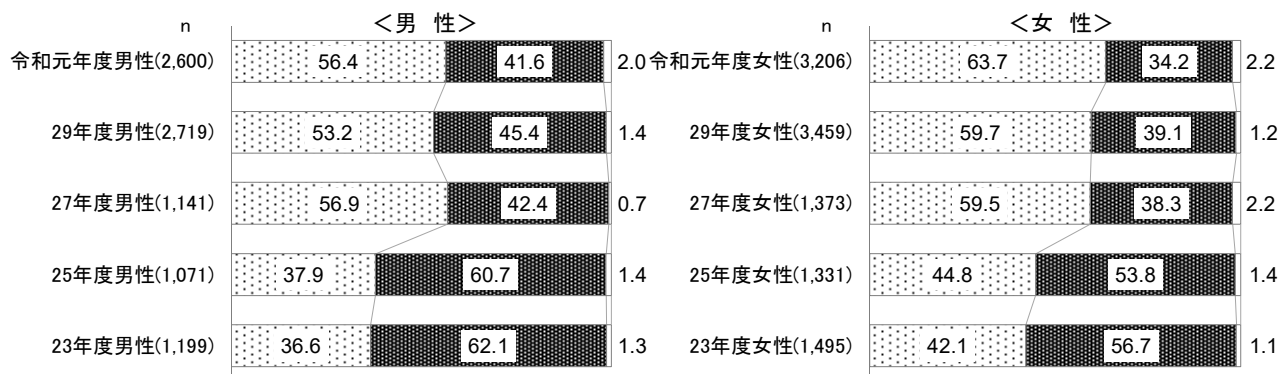


図8-2-4 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較・性別)



(3) 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況

問30 あなたは、この1年間に歯石除去や歯面清掃を受けていますか。(〇はひとつ)

全体では、「はい」が55.3%と最も高く、次いで「いいえ」が42.6%となっている。

(図8-3-1)

性別にみると、「はい」は女性(59.4%)が男性(50.4%)より9.0ポイント高くなっている。

(図8-3-1)

性・年齢別にみると、「はい」は男女ともに60～69歳で最も高く、女性(67.3%)では唯一6割半ばを超えている。男性の20～29歳では4割未満と低くなっている。(図8-3-2)

図8-3-1 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(全体/性別)

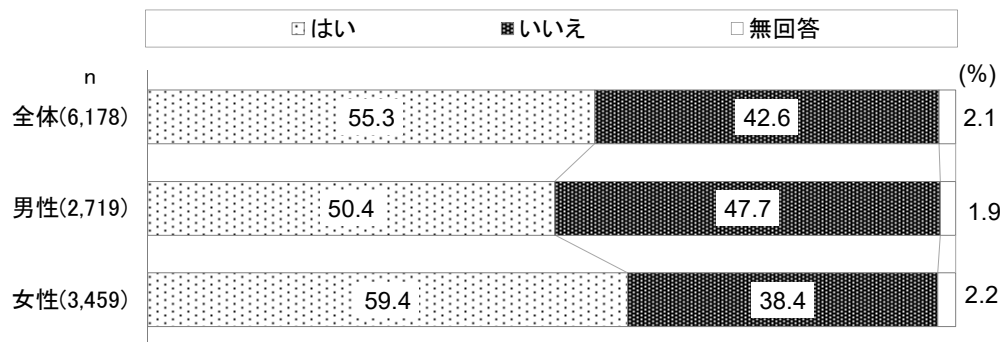
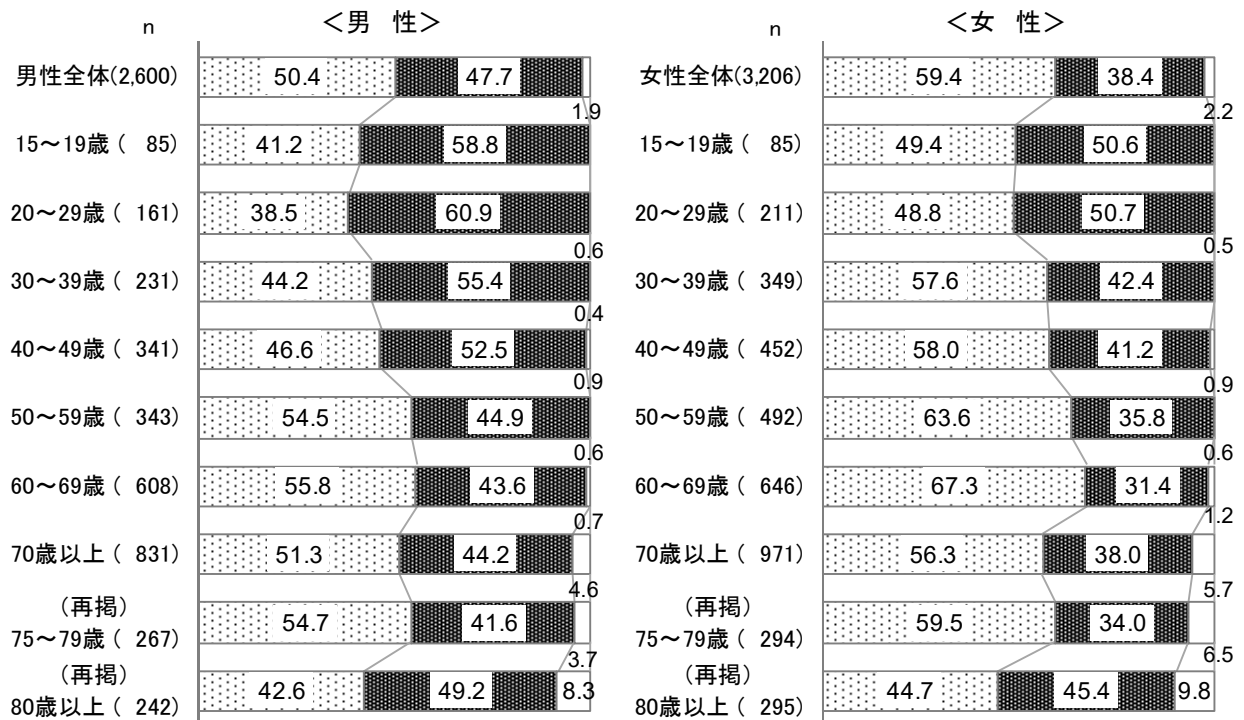


図8-3-2 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(55.3%)は、平成29年度(51.9%)より3.4ポイント増加している。(図8-3-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は男女ともに平成29年度(男性47.9%、女性55.7%)より3ポイント以上増加している。(図8-3-4)

図8-3-3 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較)

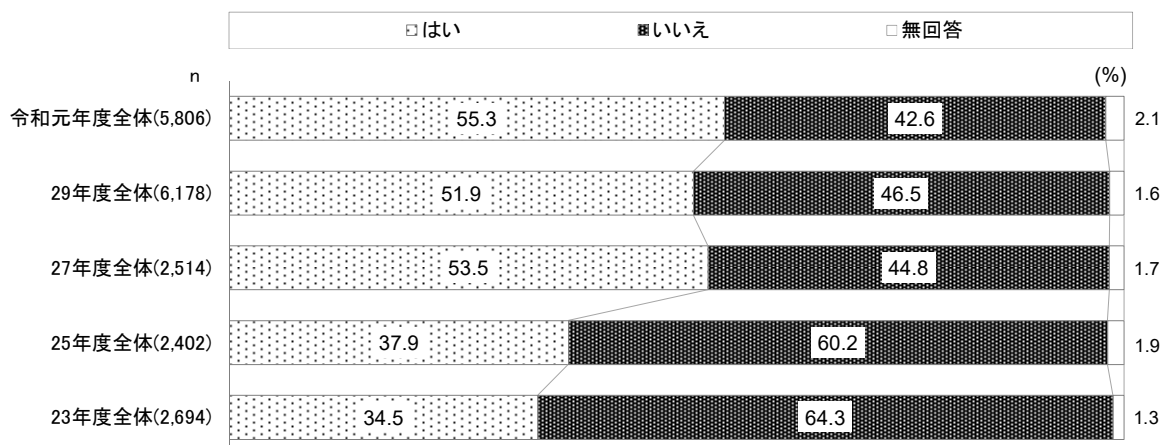
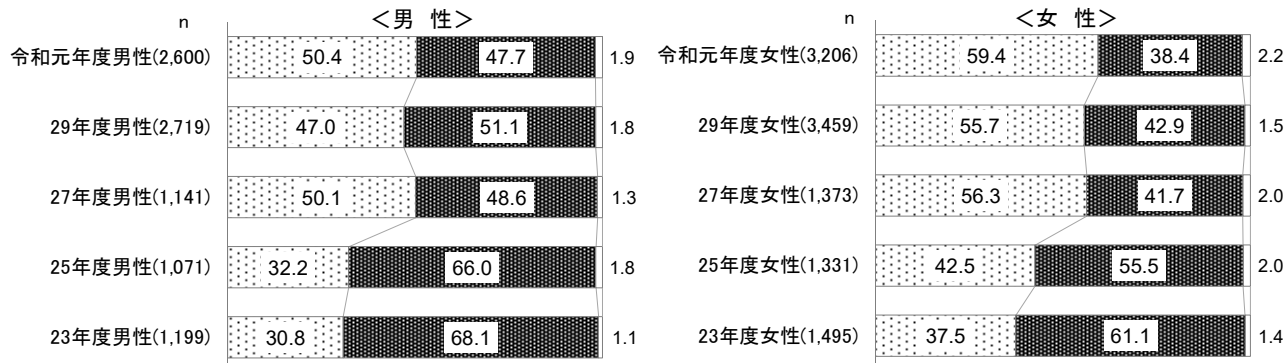


図8-3-4 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較・性別)



(4) 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度

問31 あなたは、歯ブラシ以外の器具（デンタルフロス、歯間ブラシ等）を使って、歯の手入れをしていますか。（○はひとつ）

全体では、「使っていない」が34.1%と最も高く、次いで「週に5日以上使っている」が27.0%、「ほとんど使わない（月に1日以上）」が16.8%となっている。（図8-4-1）

性別にみると、最も差がみられた「使っていない」では、男性（42.5%）が女性（27.3%）より15.2ポイント高くなっている。（図8-4-1）

性・年齢別にみると、男性ではいずれの年齢も「使っていない」が最も高くなっている。女性では15～29歳は「使っていない」、30～39歳は「ほとんど使わない（月に1日以上）」、40歳以上は「週に5日以上使っている」が最も高くなっている。（図8-4-2）

図8-4-1 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（全体／性別）

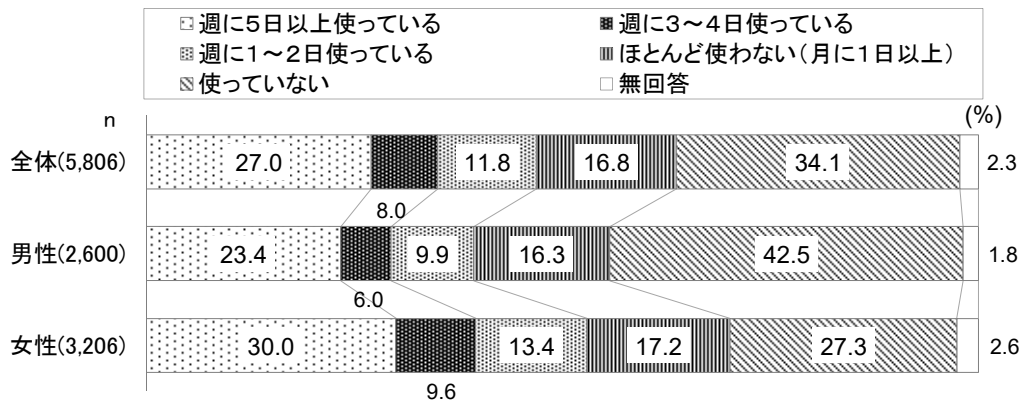
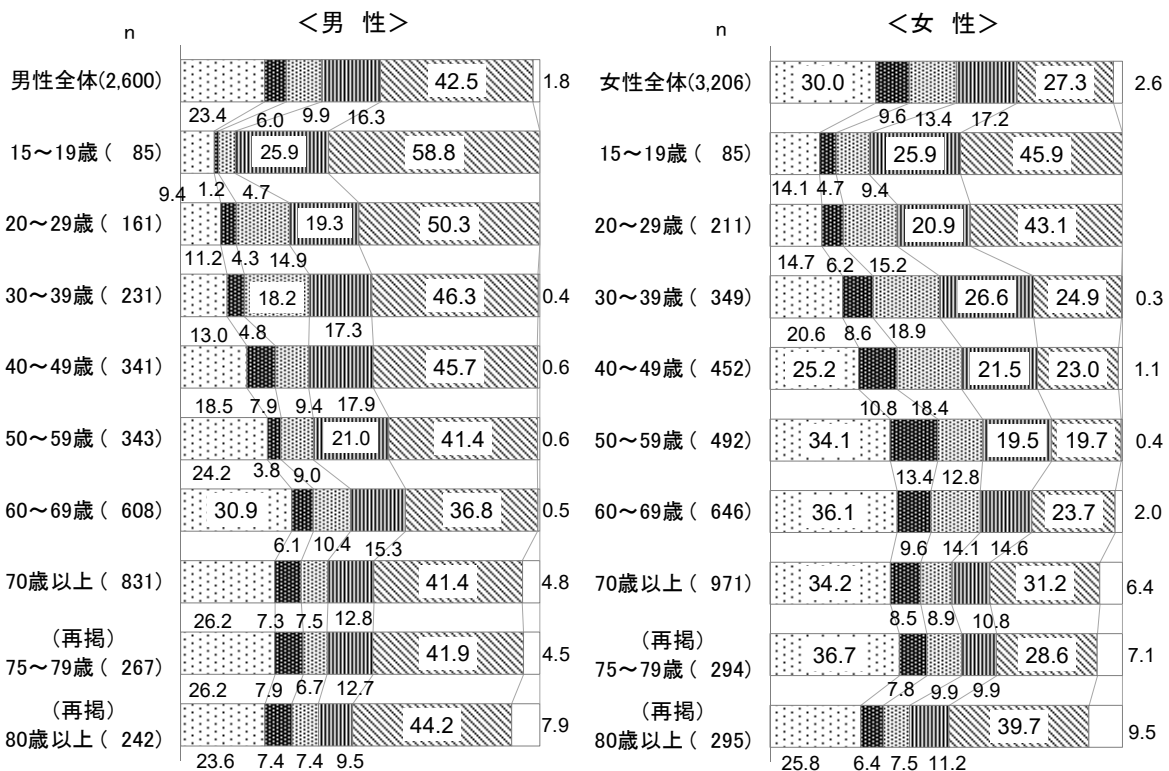


図8-4-2 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「使っていない」(34.1%)は平成27年度以降減少傾向となっている。

(図8-4-3)

性別で過去の調査と比較すると、「使っていない」は男女ともに減少している。(図8-4-4)

図8-4-3 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較)

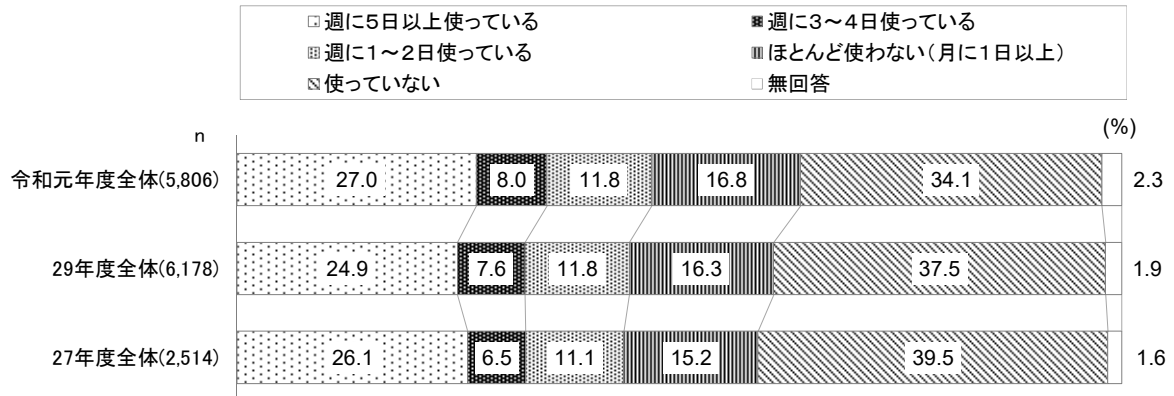
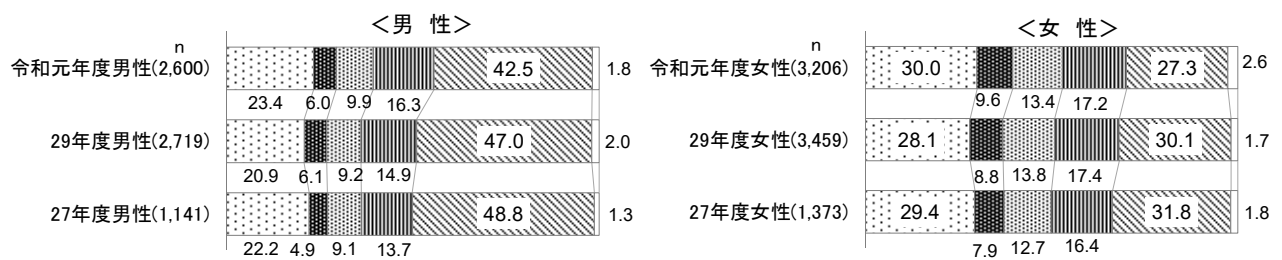


図8-4-4 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査では「ほぼ毎日使っている」を、平成29年度より「週に5日以上使っている」に変更した。

※平成23・25年度調査では、この質問をしていない。

(5) 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況

問32 あなたは、歯ぐきから出血したり、歯がぐらついたりしていますか。(○はひとつ)

全体では、「そのような症状はない」が60.9%と最も高く、次いで「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」が26.1%、「歯がぐらついている」が5.7%となっている。(図8-5-1)

性別にみると、最も差がみられた「歯がぐらついている」では、男性(7.5%)が女性(4.1%)より3.4ポイント高くなっている。(図8-5-1)

性・年齢別にみると、「そのような症状はない」は男女ともに15~19歳で7割半ばを超えて高い一方で、男性では50~59歳(52.8%)、女性では30~39歳(55.6%)で低くなっている。

(図8-5-2)

図8-5-1 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(全体/性別)

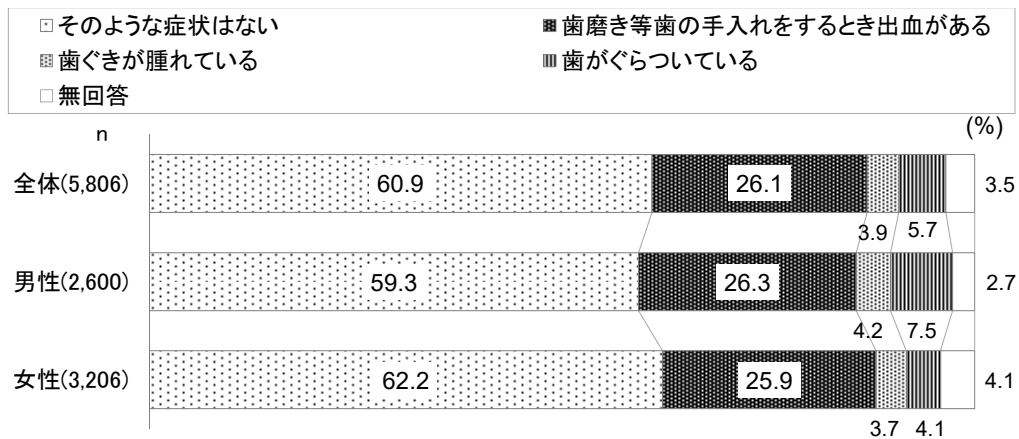
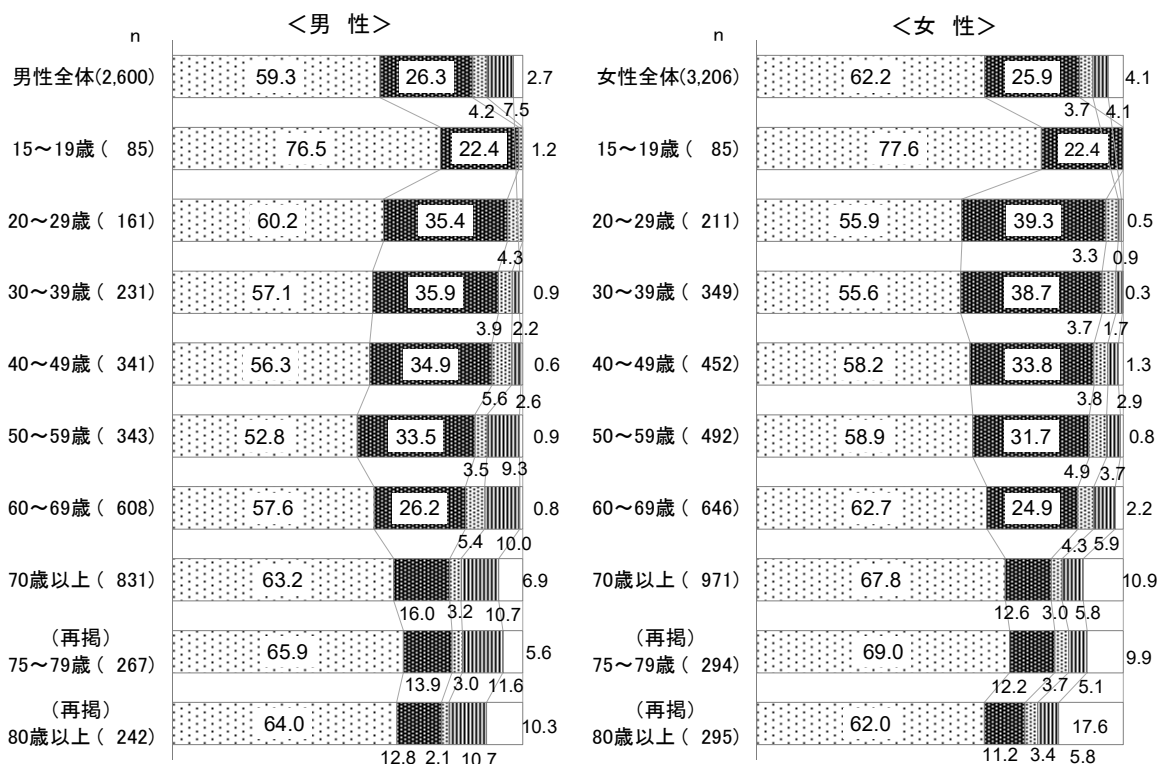


図8-5-2 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「そのような症状はない」(60.9%)が、平成27年度調査(64.6%)以降減少傾向となっている。(図8-5-3)

性別で過去の調査と比較すると、男女ともに平成29年度とほぼ同じ状況となっている。

(図8-5-4)

図8-5-3 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較)

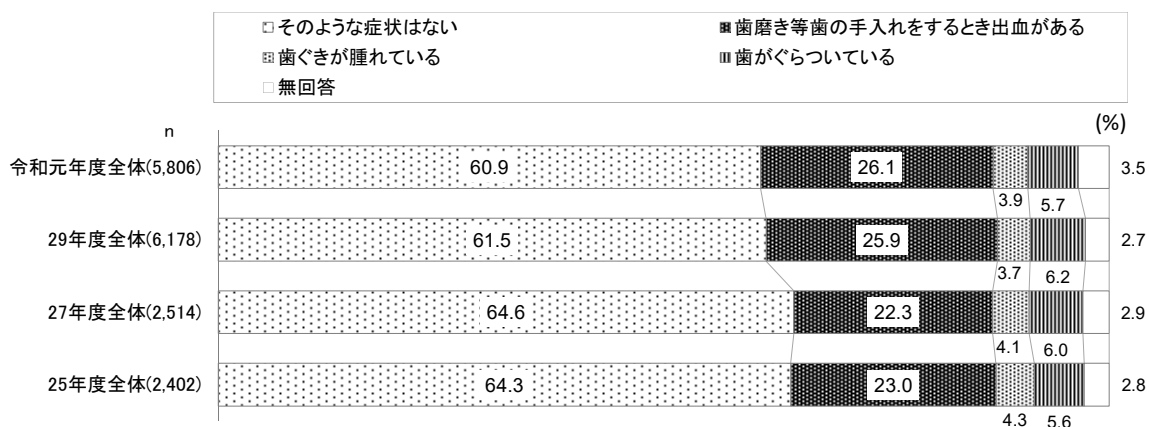
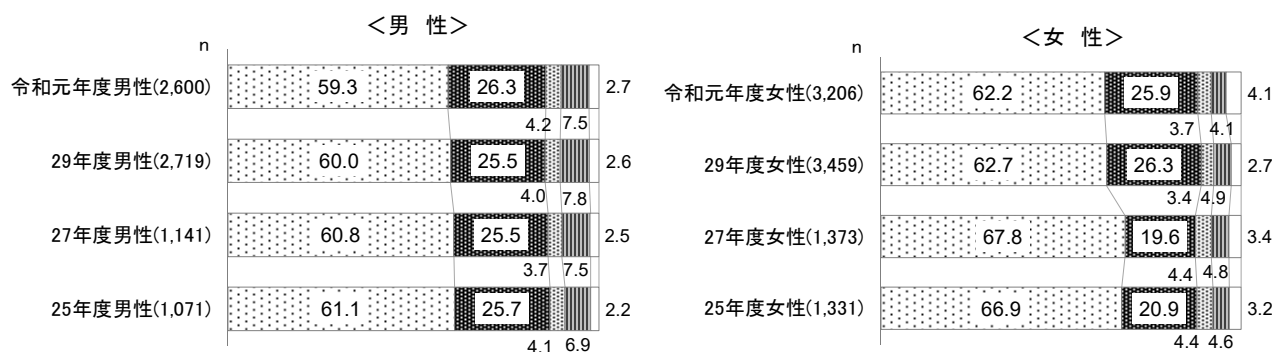


図8-5-4 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較・性別)



※平成25・27年度調査では「歯を磨くとき、出血がある」を、平成29年度より「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」に変更した。

※平成23年度調査では、この質問をしていない。

(6) 口の中を観察する習慣

問33 あなたは、自分の口の中（歯や歯肉の状態）を観察する習慣がありますか。（○はひとつ）

全体では、「ない」が29.3%と最も高く、次いで「毎日ある」が26.9%、「週に1回程度ある」が26.5%となっている。（図8-6-1）

性別にみると、最も差がみられた「ない」では、男性（37.4%）が女性（22.8%）より14.6ポイント高くなっている。（図8-6-1）

性・年齢別にみると、男性ではいずれの年齢も「ない」が最も高くなっている。女性では30～39歳と50歳以上で「毎日ある」が最も高く、いずれも3割を超えている。（図8-6-2）

図8-6-1 口の中を観察する習慣（全体／性別）

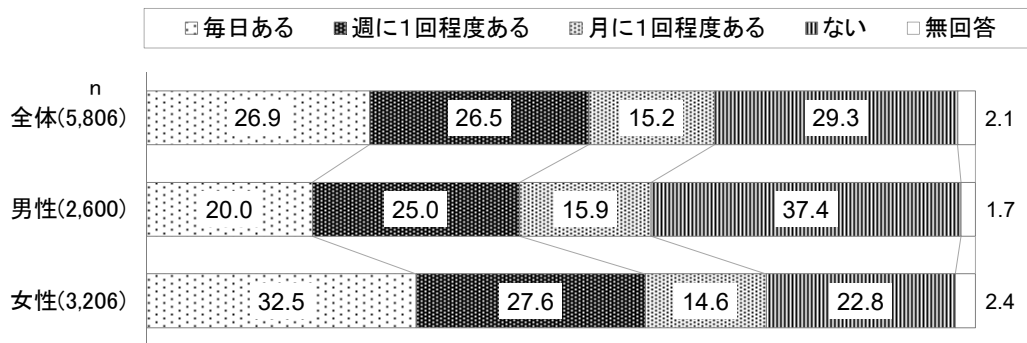
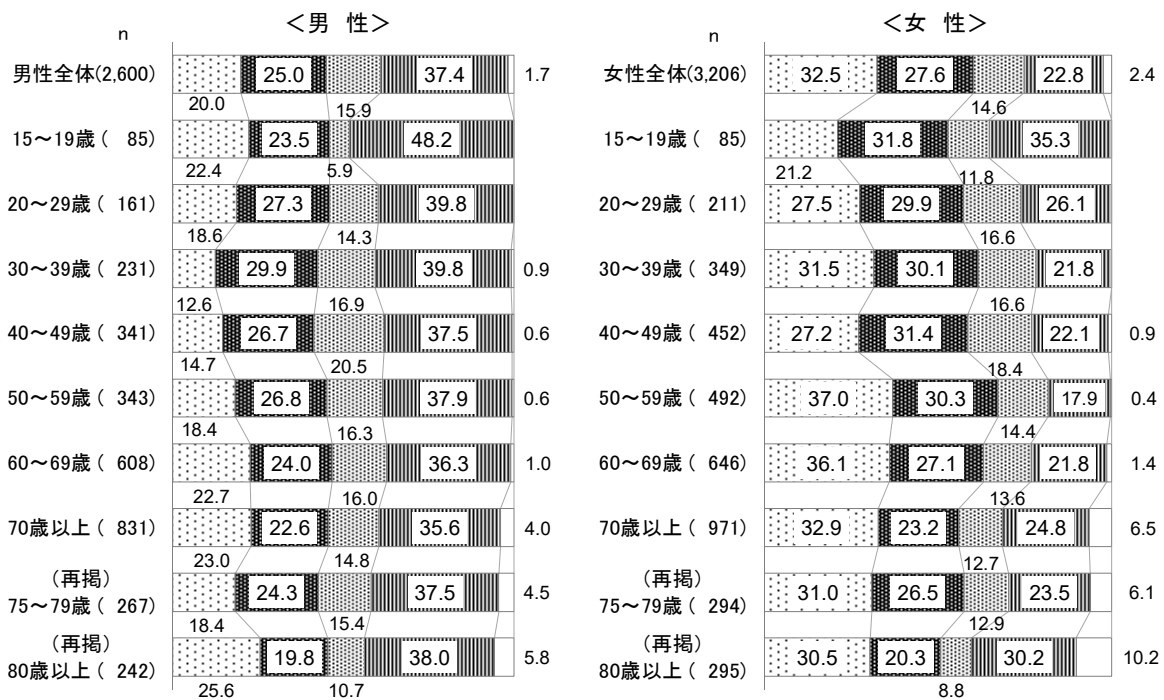


図8-6-2 口の中を観察する習慣（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「毎日ある」(26.9%)は、平成29年度調査(25.7%)より1.2ポイント増加している。(図8-6-3)

性別で過去の調査と比較すると、「毎日ある」は女性(32.5%)で平成29年度(30.5%)より2.0ポイント増加している。(図8-6-4)

図8-6-3 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較)

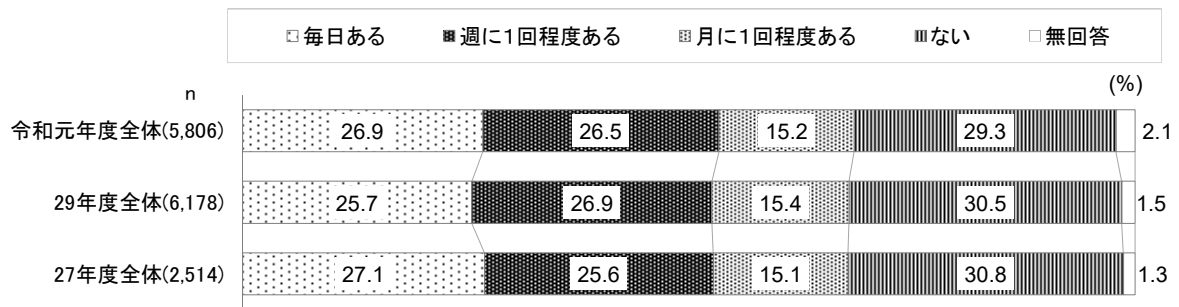
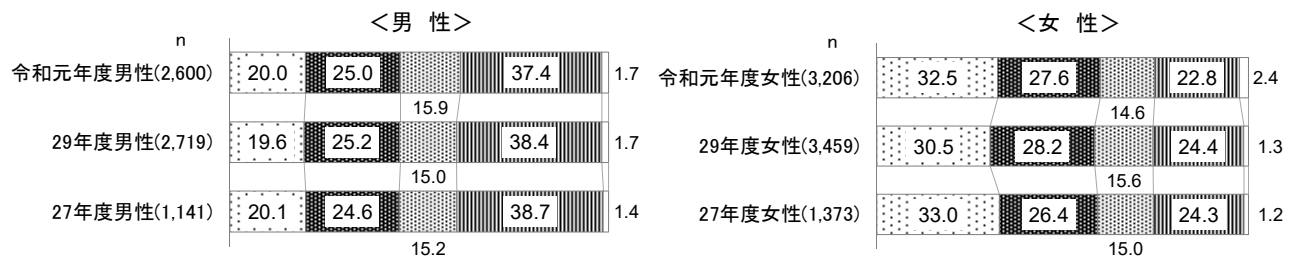


図8-6-4 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査から選択肢を変更している。

(7) ものをかんで食べることができるか

問34 あなたは、ものをかんで食べるとき、どのような状態ですか。(〇はひとつ)

全体では、「何でもかんで食べることができる」が76.7%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が18.3%、「かめない食べ物が多い」が2.3%となっている。(図8-7-1)

性別にみると、「何でもかんで食べることができる」は女性(78.0%)が男性(75.1%)より2.9ポイント高くなっている。(図8-7-1)

性・年齢別にみると、「一部かめない食べ物がある」は、男女ともに年齢が高くなるほど割合も高くなっている。また、60~69歳で「何でもかんで食べることができる」は男性72.4%、女性72.6%で男女合わせて72.5%となっている。(図8-7-2)

図8-7-1 ものをかんで食べることができるか(全体/性別)

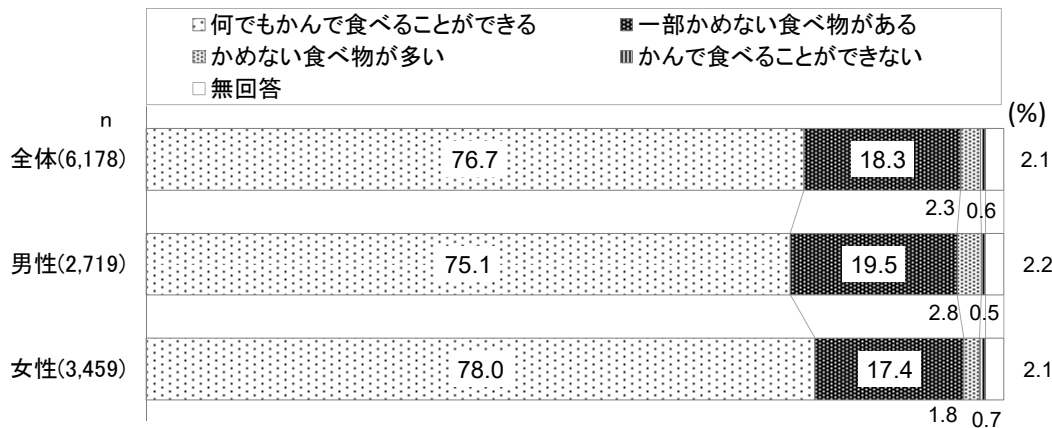
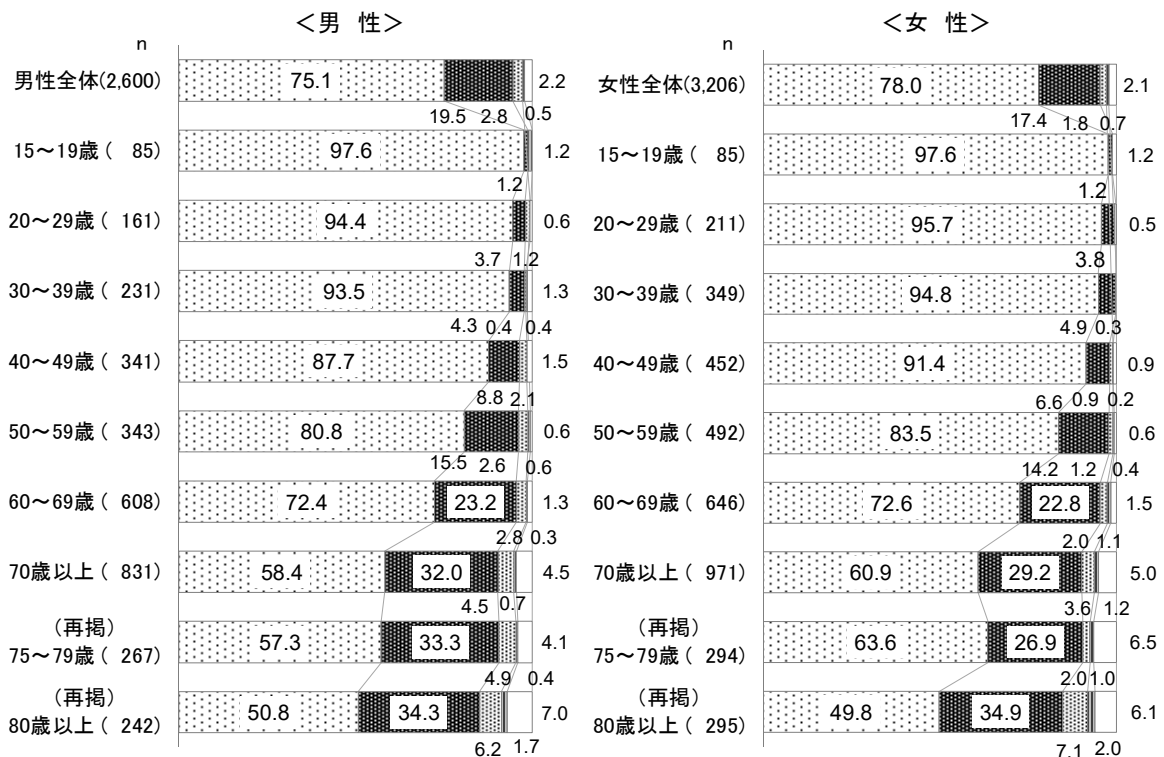


図8-7-2 ものをかんで食べることができるか(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「何でもかんで食べることができる」(76.7%)は、平成29年度(74.7%)より2.0ポイント増加している。(図8-7-3)

性別で過去の調査と比較すると、「何でもかんで食べることができる」は男女ともに平成29年度より増加している。(図8-7-4)

図8-7-3 ものをかんで食べることができるか(過去の調査との比較)

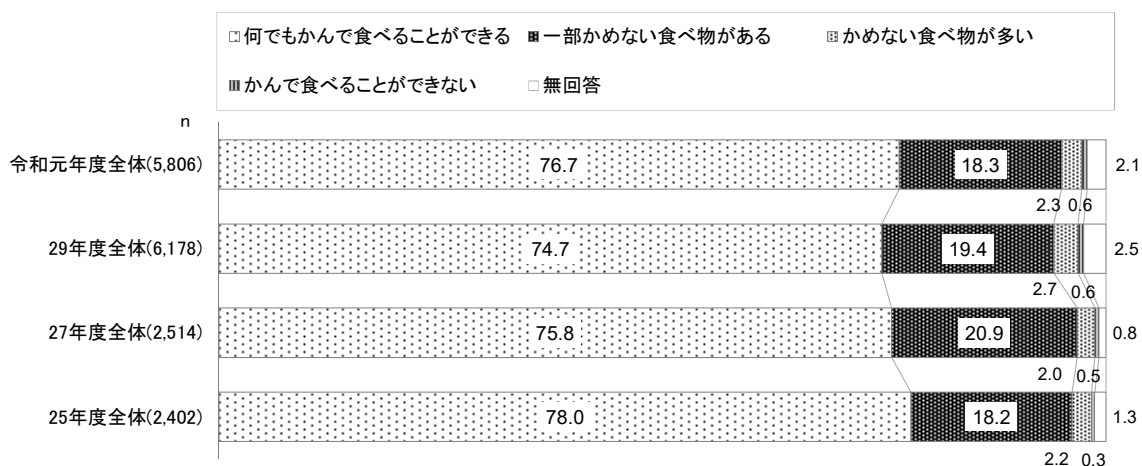
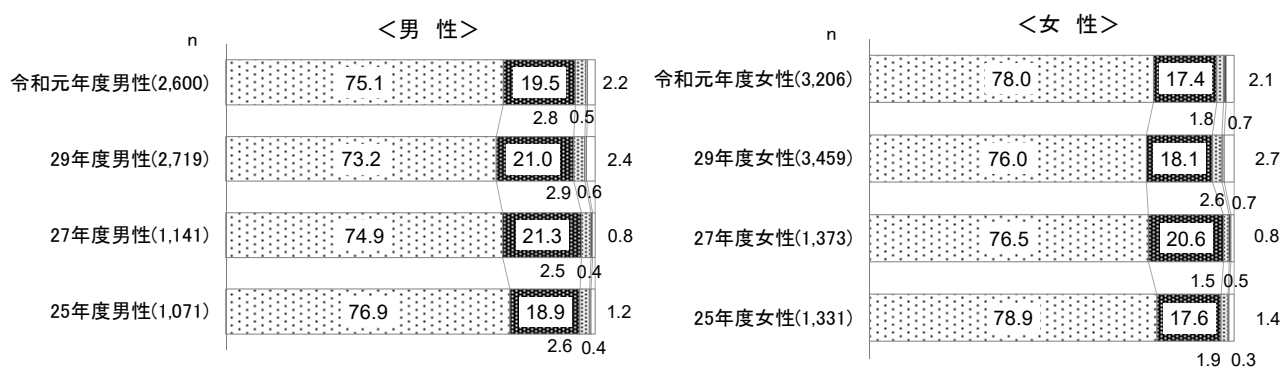


図8-7-4 ものをかんで食べることができるか(過去の調査との比較・性別)



※平成23年度調査では、この質問をしていない。

(8) ふだんゆっくりよくかんで食べているか

(問34で「何でもかんで食べることができる」、「かめない食べ物が少しある」、または「かめない食べ物が多い」とお答えの方に)
 問34-1 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。(○はひとつ)

全体では、「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べていない」が38.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」が38.1%、「ゆっくりよくかんで食べていない」が12.6%となっている。「ゆっくりよくかんで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」を合わせた《ゆっくりよくかんで食べている》は48.1%となっている。(図8-8-1)

性別にみると、「ゆっくりよくかんで食べていない」は、男性(15.9%)が女性(9.9%)より6.0ポイント高くなっている。(図8-8-1)

性・年齢別にみると、《ゆっくりよくかんで食べている》は、男女ともに15～19歳と70歳以上で高く、中間層で低い傾向がみられる。(図8-8-2)

図8-8-1 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(全体/性別)

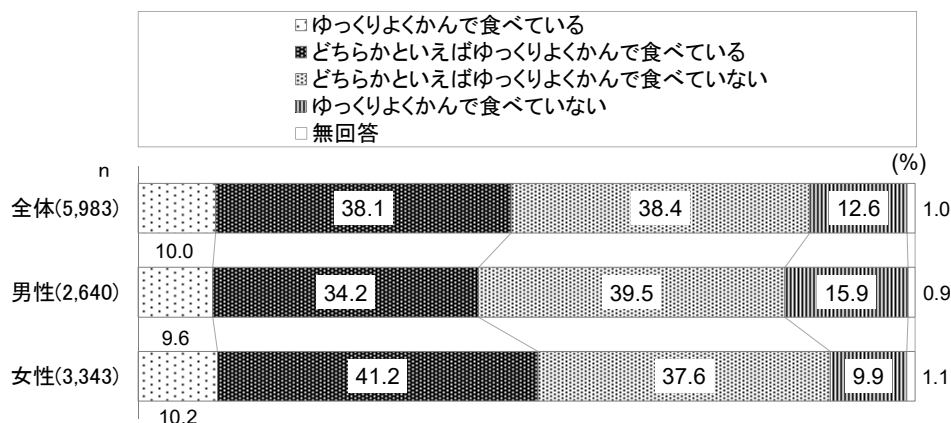
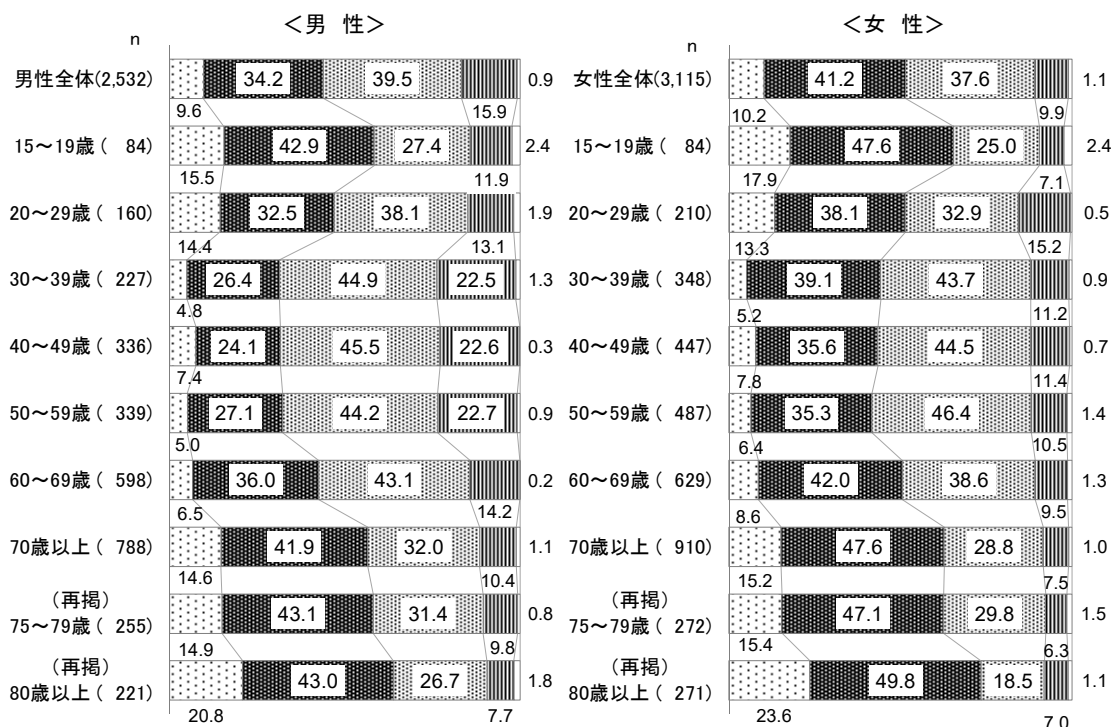


図8-8-2 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「ゆっくりよくかんで食べている」(48.1%)は、平成29年度(45.5%)より2.6ポイント増加している。(図8-8-3)

性別で過去の調査と比較すると、「ゆっくりよくかんで食べている」は男女ともに平成29年度より増加している。(図8-8-4)

図8-8-3 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(過去の調査との比較)

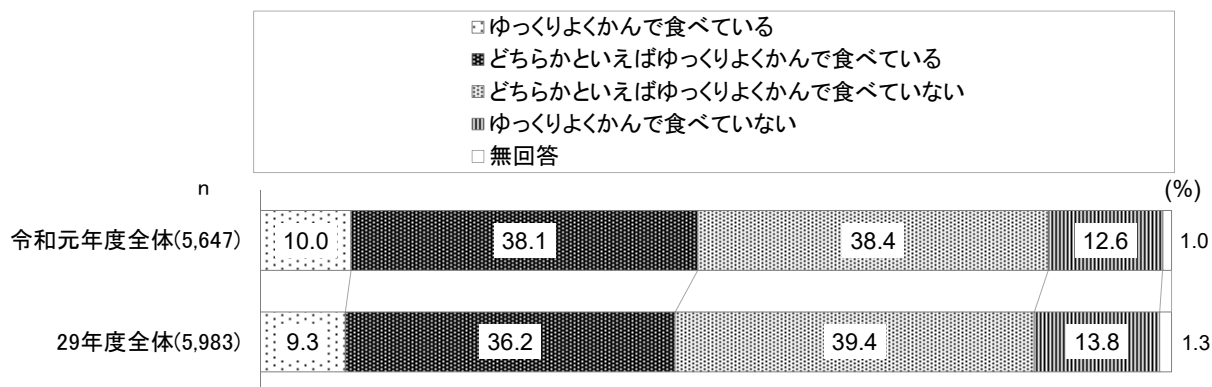
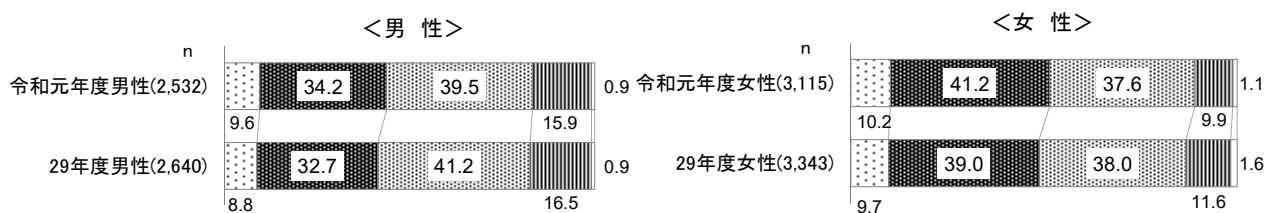


図8-8-4 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(過去の調査との比較・性別)



※平成23・25・27年度調査では、この質問をしていない。